

●医療区分表

医療区分 3	
疾患・状態	スモン、医師及び看護師による24時間体制での監視・管理を要する状態
医療処置	中心静脈栄養、24時間持続点滴、人口呼吸器使用、ドレーン法、胸腹腔洗浄、発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管のケア、酸素療法、感染隔離室におけるケア
医療区分 2	
疾患・状態	筋ジストロフィー、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病関連疾患、その他神経難病(スモンを除く)、神経難病以外の難病、脊髄損傷、肺気腫、慢性閉塞性肺疾(COPD)、疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍、肺炎、尿路感染症、創感染、リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内、発熱を伴う脱水、体内出血、発熱を伴う頻回の嘔吐、褥瘡、うつ血性潰瘍、せん妄の兆候、うつ状態、暴行が毎日みられる状態
医療処置	透析、発熱又は嘔吐を伴う場合の経管栄養、喀痰吸引、気管切開、気管内挿管のケア、血糖チェック、皮膚の潰瘍のケア、手術創のケア、創傷処置、足のケア
医療区分 1	
医療区分 2・3 に該当しない者	

●ADL区分

0	自立	手助け、準備、観察の不要又は1~2回のみ	6 段 各 項 目 に つ い て 合 計	項目	支援レベル								
1	準備のみ	物や用具を患者の手の届く範囲に置くことが3回以上		ベッド上の可動域									
2	観察	見守り、励まし、誘導が3回以上		移乗									
3	部分的な援助	動作の大部分(50%以上)は自分でできる・四肢の動きを助けるなどの体重(身体)を支えない援助を3回以上		食事									
4	広範な援助	動作の大部分(50%以上)は自分でできるが、体重を支える援助(例えば、四肢や体幹の重みを支える)を3回以上		トイレの使用									
				(合計点)									
5	最大の援助	動作の一部(50%未満)しか自分でできず、体重を支える援助を3回以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ADL区分</th> <th>ADL得点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0~10</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11~22</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>23~24</td> </tr> </tbody> </table>			ADL区分	ADL得点	1	0~10	2	11~22	3	23~24
ADL区分	ADL得点												
1	0~10												
2	11~22												
3	23~24												
6	全面依存	まる3日間すべての面で他者が全面援助した(及び本動作は一度もなかった場合)											

●包括評価

	医療区分 3	医療区分 2	医療区分 1
ADL区分 3	入院基本料 A	入院基本料 D	入院基本料 G
ADL区分 2	入院基本料 B	入院基本料 E	入院基本料 H
ADL区分 1	入院基本料 C	入院基本料 F	入院基本料 I